



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

社会性を育てる心

校長 川添 倫義

新型コロナやインフルエンザの感染拡大の防止に努めながら教育活動を進めています。運動場からは、運動会へ向けた練習の子どもたちの声や活動の様子が伝わってきます。

9月21日（木）～30日（土）は、秋の全国交通安全運動期間でした。子どもたちは登下校の時や下校後の生活において、子どもたちだけで道路を通行する機会があります。道路は自分や友達等の歩行者だけでなく自動車やバイク、自転車が通行しています。最近ではランニングをしているランナーにもよくすれ違います。それぞれの立場で事故にならないよう、社会の一員としてルールやマナーに留意しながら通行したいものです。歩行者としては、主に4つのことに気を付けるとよいといわれます。1. 歩道や路側帯を歩く。2. 歩道や路側帯のない道は右側を歩く。3. 歩行者の信号を守る。4. 道路を横断するときは、周りの安全を確認してから渡る。また、歩行中の飛び出しは大きな事故につながります。具体的には、「友達と追いかけて」「ボールを追いかけて」「はなれたところにいる友達から呼ばれて」飛び出すことが多いようです。道路を横断するときの3原則は、「止まる（飛び出さない）」「見る（周囲の安全を確認する）」「待つ（車などが横切らないか確かめて渡る）」とのことです。

先日、保護者の方からの嬉しいお手紙を拝見しました。3年生の複数の女子児童が自主的に公園のごみ拾いをしてくれていたそうです。集めた結果、ポリエチレンの袋4つほどになったそうです。

交通安全も公共施設の環境維持も社会性の現れのように思えます。自分の身近なところから育てていきたいものです。

10月31日（火）は、「人権の花運動」が行われます。関係者の方々をお迎えし、栽培委員の児童や教職員と共にプランターや花壇にお花を植える活動を行います。相手の立場を考え、生命の尊さを学ぶ活動です。